

東久保町 夢まちづくりニュース

No.25

平成30年3月 発行

発行：東久保町夢まちづくり協議会ニュース編集委員会

発行責任者：和田泰次

第12回まちづくり検討会を開催！

平成30年2月11日（日）10時～12時 東久保町会館



2018.02.11

今年は特に寒さが一段と厳しく寒い中、42名の出席を得て検討会を行った。検討会は年度の中間報告と次年度の主な計画案を発表し、議論をしていく場です。

平成30年度の各部の主な計画案は次の通り

【いえみち事業部】

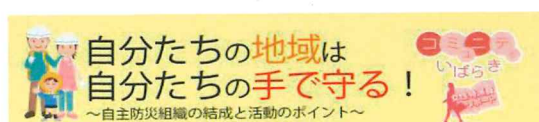
- ★空き家や空き地の他所の活用事例を見学し、参考にする。
- ★急階段の手摺取り付けは、地権者を把握し、調整を進めたい。
- ★新築時の業者資料を作りたい。

【災害対策本部】

- ★プロフェッショナル登録制度をより良い形で継続していきたい。
- ★対策本部が中心になって、防災広場を活用した各種の訓練・事業を計画していきたい。
- ★スタンプラリーのようなイベントを実施していきたい。
- ★「防災だより」は、なお一層適時継続してゆく。



2018.02.11



防災施設見学会を実施！！

東久保町夢まちづくり協議会 主催

開催日 平成30年1月24日(水)

行き先 東京都有明にある葛西臨界広域防災公園

(首都直下型地震など大規模な地震発生時には「災害現地対策本部」んまどが置かれる所です)



当日は2日前の大雪が降って冷たい風が吹いていたが、天気はまずまずであった。30人の団体に小さなマイクロバスでは少々狭いと感じた。

現地に着くと巨大な建物に案内され、3人一组3列に並びタブレットを渡され、出された問題を回答し、正解だと次に進む方法で試された？案内嬢の説明も良かったが体験の為に災害現場を再現した施設の凄さには、目を見張るものがあった。



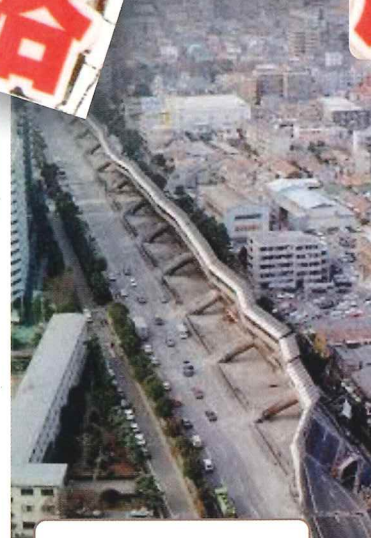
本部前で 参加者記念写真

阪神・淡路大震災

写真は、平成7年に発生した阪神淡路大震災の火災発生や被害状況です！！



地震後に発生した火災



高速道路の倒壊



ビルの崩壊



民家の全壊



防災広場で火起こし訓練！準備は



いつ起こるかわからない災害に備え、2月25日の日曜日、防災広場へ災害対策本部もかのメンバーが集まり「火起こしの訓練」を実施しました。

町内備品の竈(へっつい)カマド、U字溝を利用したカマド、ブロック積のカマドの3つでそれぞれ火を起こし、湯を沸かし、飯ゴウご飯を炊くという、災害時でも火起こしや炊き出しが可能か？を確かめる目的で実施した。

災害時を想定して「そこにある物を利用する」という訓練方法で行い、大成功でした。おまけに「焼きそばパーティー？」まで楽しむ事ができた。

また、火おこし、焚き付けを待つ間を利用し、ロープワークの講習を実施、火の後始末もきちんと片づけ、約3時間の訓練を無事完了した。



もやい結び 難しいね？！

避難訓練



初期消火



味噌汁で ハイお疲れ！

建物の不燃化に関する補助・相談制度のご案内

横浜市からのお知らせ

東日本大震災を踏まえ、横浜市の地震被害想定を見直したところ、火災による被害は 東久保町を含む特定の地域(重点対策地域) に集中して発生することがわかりました。当該地域では建物の延焼を防止するため、特に火災対策を講じる必要があります。

横浜市では重点対策地域内において老朽化した建築物を取り壊す場合や、燃えにくい建物を新築する場合、一定の条件を満たすことで補助金を交付しています。また、現在お住いの木造建築物で耐火・耐震性能などの安全性が気になる方へ向けて、無料で相談事業を行っています。

※各制度を利用する上では細かな条件がございます。詳細は下記までお問い合わせください。

■ 建物を取り壊したい方・建物を新築したい方へ

⇒建築物不燃化推進事業補助

老朽建築物の除却費や、建物の「耐火性能強化」の工事費に対し、それぞれ 150 万円、合計最大 300 万円補助します。

【問合せ先】都市整備局防災まちづくり推進課(045-671-3664)

■ 建物などの安全性について相談をされたい方へ

⇒木造建築物安全相談事業

木造建物の耐火・耐震性能や敷地内の擁壁などの調査・相談を行う建築の専門家を無料で派遣します。

『夢やさい』のお買い上げ

ご協力ありがとうございます。

売り上げの利益金は、まちづくりの事業基金として役立っています。次回は4月の第3日曜日の予定です。



[編集委員] 和田・滝沢・宮本・浅賀・志鳥

【問い合わせ先】

☆東久保町夢まちづくり協議会

〒220-0062 横浜市西区東久保町 29-11 ☎045-241-7150

